

までで、さらなる改善を求め、声が市内の子育て世代に大きくなっている。中学校卒業まで対象年齢を引き上げるべきだと思うが、どうか。

市長 現時点では、入院は中学校卒業まで、通院は小学校3年まで行うという方向で、平成24年度予算も予算編成をしている。

議員 大きな子育て支援の柱である。周辺より劣っていれば、改善するのは当然ではないか。

市長 子育て支援は、国の政策としてやるべきだと思っている。隣がやっているからやるというような形で、どんどん引き上げていくことは、いかがなものかと思っている。

神島保育所移転建設問題について

議員 第一候補地に地元や保護者が挙げている汁方公園への移転は、二重投資になるから適切ではないとい

う回答である。市の対応として、もっと掘り下げて、可能かどうか十分に検討すべきだったのではないか。

市長 平成17年当時、カブト南の都市公園が候補地として挙がっていたが、内部で検討し、神島協議会と協議する中で最終的に断念した。

議員 市民の思いの強さ、真剣さが市長には伝わっているのか。直接会って受けとめていただけじゃないか。

市長 今の段階で会ってどうということではなくて、防災計画が出た段階で子どもの安全のためにどうすべきかということをも十分話し合えるべきである。

藤井義明議員

平成24年度予算編成について

議員 平成24年度予算に掛けた今後への思い、12年間担当した笠岡市政への思い、今後の市政に対する思いをたずねる。

市長 「市民協働で築くしあわせなまち 活力ある福祉都市かさおか」の実現を図っていききたいという思いで予算を編成した。

12年間の市政への思いだが、私が最重要課題に掲げている財政健全化の推進のために、行財政改革を着実に実施して、揺るぎない基盤づくり、土台づくりに全力を傾注してきた。

今後の市政への思いだが、まちづくり協議会が、市内全域で活力に満ち、力が発揮できるようなまちづくりを進めることが本市の将来に向けて極めて重要であると思っている。

国民健康保険税について

議員 ①国民健康保険税を1世帯2万円下げるとは、どの程度の財源が要るのか。
②平成23年度末の国民健康保険準備基金の残額はいくらになるのか。
③国保準備基金が枯渇した場合は、一般会計からの繰

り入れになると思うが、その場合、どのような事業に影響するのか。

市長 ①単純に1世帯当たり2万円の引き下げをするとして、約1億6,270万円が必要となる見込みである。
②4億6,695万円余りになる見込みである。

③一般会計の事業は、繰り入れた額だけは縮小せざるを得ない状況になる。

議員 具体的に、市民にわかりやすく、引き下げに必要な金額はいかに大切かというところを、もう少しトータルで説明してもらいたい。
総務部長 総合的に見て市民にわかりやすくということとは、今後、色々な分野で、工夫しながらやっていきたい。



給食センター

学校給食センターについて

議員 ①給食センター建設予定地3地点で比較した選定調査報告書は公表されていないが、なぜ、中央小学校グラウンド以外の候補地が選定から漏れたのか。

②国・県の防災計画の見直しが行われてから用地の検証では、建設が二、三年遅れることになると思うが、どの程度遅れるのか。

教育長 ①大井南については、土地開発公社から買い戻す必要があるという一般会計の支出が増えるという財政面と、南部の学校への配送時間の問題、美の浜については、買い戻しが必要なこと、少年野球等グラウンドの利用頻度が高いことが問題となった。

②建設が予定より数年間遅れることになる。しかし、既存施設は老朽化が進み、建設を先延ばしにすることは望ましくないと考えている。